

評価領域	特色ある教育課程
------	----------

重点目標	地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくりを推進する。
------	-----------------------------

現 状	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 鹿角の特産物であるりんごの栽培活動を全校縦割りの学習グループで実施しており、学習の中核をなしている。また、りんごに関する生活単元学習を各学部ごとに工夫して実施している。</li> <li>2 児童生徒の障がいの多様化が進んでいる。隣接する東山学園から全体の約3割に当たる17人が通学してきている。様々な生育歴をもつとともに、発達障がいを併せ有することによる人間関係・社会性の課題が顕著な生徒が多い。</li> </ol>
-----	---

具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校の特色ある活動であるりんごの栽培活動を通して、ふるさとを大切にする気持ちを育てる。収穫したりんごを被災地の学校に寄贈するなどして思いやりの心を育む。</li> <li>2 各学部の特色ある生活単元学習で、地域と共に育ち、地域に感謝される学習を積極的に展開する。</li> <li>3 児童生徒の問題行動に関して、チーム対応を徹底する。生徒との個別面談での情報をチームまたは全体で共有し、一貫した対応をする。</li> </ol>
--------	---

目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 りんごの栽培活動は年間を通して全校で取り組む。今年は学校創立40周年に当たり、4つのグループでキャッチフレーズのタペストリーを制作する。4年目となるリンゴレンジャーは「鹿角ヨクシ隊」の一員として、幼稚園や地域のイベントで防犯等のレンジャーショーを開催する。集大成として、昨年に引き続き花輪小学校を会場に、リンゴレンジャーショーを開催し、近隣の園児を招く。</li> <li>2 中学部では、にこにこりんごパン屋さんの生活単元学習を新しく始め、学部の特色ある学習活動を模索する。小学部は、交流先の要望を作品づくりに取り入れるなど新たな取組をする。</li> <li>3 発達障害を有し、人間関係形成が難しい生徒に対していろいろな職員が面談し、本人の行動を一緒に整理していきながらよりよい行動を導く。必要に応じて、東山学園など関係機関と適宜連携する。</li> </ol>
------------	---

具体的な取組状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全校縦割りグループメンバーを固定し、同グループの年長者が年少者に手本を示して、グループ活動をスムーズに行うことができるようにした。40周年記念に制作したタペストリーを、記念式典会場に飾り、来客の方々に見ていただいた。収穫したりんごを今年も熊本県立小国支援学校に送らせてもらった。</li> <li>2 中学部では、教材研究を重ね、収穫したりんごを使ったパンを製造した。また、地域のパンづくりの先生に直接御指導いただき、製品のクオリティーアップに努めた。</li> </ol>
----------	--

P

D

	3 教師と1対1で話す機会が定期的にあることで、生徒の心の安定につながった。問題行動の未然防止の取組により、安心安全な学校生活ができるようになった。	
達成状況	1 リングレンジャーショーは、高等部合同生活単元学習でそれぞれの持ち味を生かして、役者、司会、音響、小道具などを担当して準備を進め、集大成の花輪小学校での公演では、近隣の園児も含めて250名から大絶賛された。ショーを創り上げた生徒たちにとっても、達成感・満足感があり、次につながるショーになった。 2 学級担任、学部、生徒指導部がチームを組んで、問題行動の未然防止に努めた結果、発生件数が格段に減っている。	



自己評価	(評価)	(根拠)	C
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんごの活動は今年で8年目を迎え、かづの校の特色ある教育活動である。リングレンジャーは、高等部生徒の話し合い活動による内容の充実が図られ、レンジャーショーは地域から寄せられる期待も大きい。</li> <li>・地域貢献活動を継続的に展開した結果、感謝される体験が増し、生徒自身が自信を得たり、地域からの理解を推進したりすることができた。</li> <li>・創立40周年の節目に、鹿角市交流センターを会場に記念式典や学習発表会を開催し、かづの校の取組を広く地域に発信することができた。</li> </ul>	



学校関係者評価と意見	(評価)	(意見)	C
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「街は大きな教室だ」を合言葉に、地域で本物の体験を積極的に展開して、地域の学校としての存在を大きくしています。</li> <li>・どこの地域も少子高齢化が進み、学校の若い力が地域の元気の源になっています。期待しています。</li> <li>・校長先生の指導の下、本校・両分校が足並みをそろえて地域展開をしており、チーム比内の底力を感じています。</li> <li>・せっかくすばらしい取組をしているのだから、もっともっと情報発信をしてもいいと思います。</li> </ul>	



自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リングレンジャーショーは、授業時数を十分に確保し、生徒たちのオリジナリティーを重視して練習を積み重ねた結果、回数を重ねるにつれ、すばらしいショーが完成した。やり遂げた生徒たちには、安堵と自信に満ちた表情を見て取ることができた。明日への自信につながる充実した活動になったので、次年度以降も生徒たちの発想を取り入れ、発展的に展開していきたい。</li> <li>・創立40周年に係る記念行事や継続している地域貢献活動で、地域の方々から高評価を得られたので、これからもかづの校が地域のためにできることを模索していきたい。</li> </ul>	A
-----------------------	--	---